



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月27日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 大光銀行
コード番号 8537 URL <http://www.taikobank.jp/>

代表者 (役職名) 取締役頭取
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長

(氏名) 古出 哲彦

(氏名) 長野 勉

TEL 0258-36-4111

四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日

特定取引勘定設置の有無 無

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	5,407	△6.3	679	613.5	406	351.8
24年3月期第1四半期	5,776	△11.1	95	△93.2	89	△89.3

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 214百万円 (△77.6%) 24年3月期第1四半期 959百万円 (124.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	4.07	—
24年3月期第1四半期	0.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	1,346,747	64,040	4.7
24年3月期	1,330,626	64,076	4.7

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 63,757百万円 24年3月期 63,801百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	2.50	—	2.50	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,130	△23.2	610	△44.1	6.12
通期	2,320	△13.5	1,310	△15.0	13.14

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 2「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	100,014,000 株	24年3月期	100,014,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	393,045 株	24年3月期	393,045 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	99,620,955 株	24年3月期1Q	99,624,014 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は四半期決算短信に添付しています。

(参考) 個別業績予想

平成25年3月期の個別業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	1,120	△22.2	600	△43.9	6	02
通期	2,280	△13.0	1,290	△15.0	12	94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 2
(4) 追加情報	P. 2
3. 四半期連結財務諸表	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 5
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 6
4. 補足情報	P. 7
平成25年3月期第1四半期決算説明資料	P. 7
(1) 損益状況（単体）	P. 7
(2) 金融再生法ベースの категорияによる開示	P. 8
(3) 自己資本比率（国内基準）	P. 9
(4) 時価のある有価証券の評価差額	P. 10
(5) 預金、貸出金の残高（単体）	P. 11
(6) 預り資産（未残）の状況（単体）	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期連結累計期間におけるわが国の経済を顧みますと、景気は厳しい状況にはあるものの、東日本大震災からの復興需要を背景に公共投資や住宅建設に堅調な動きがみられるなど、全体としては緩やかに持ち直す展開となりました。しかしながら欧州債務危機問題を背景に、金融資本市場の変動や海外景気の減速などの懸念が依然として残っており、先行きについては不透明な状況が続いております。

当行グループの主たる営業基盤である新潟県の経済につきましては、エコカー補助金等の政策効果もあって個人消費が堅調に推移したことなどから、国内景気と同様に緩やかに持ち直す展開となりました。

このような経済状況のもとで、当行グループの当第 1 四半期連結累計期間の連結経営成績につきましては、経常利益は、資金利益の減少やその他業務利益の減少などによる減益要因がありましたが、実質与信関係費用が減少したことや株式等関係損益が改善したことなどにより前年同四半期比 5 億84百万円増加の 6 億79百万円となりました。

四半期純利益については、法人税等調整額を含めた税金費用が増加しましたが、経常利益の増加などから前年同四半期比 3 億17百万円増加の 4 億 6 百万円となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第 1 四半期連結会計期間末における連結財政状態につきましては、総資産 1 兆3,467億47百万円（前年度末比161億21百万円増加）、純資産は640億40百万円（前年度末比36百万円減少）となりました。主要科目につきましては、貸出金8,679億70百万円（前年度末比99億73百万円減少）、有価証券3,814億34百万円（前年度末比25億45百万円増加）、預金 1 兆2,465億53百万円（前年度末比155億46百万円増加）となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

連結の業績予想につきましては、第 2 四半期連結累計期間、通期ともに平成24年 5 月11日の公表数値から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当行及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第 1 四半期連結会計期間より、平成24年 4 月 1 日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第 1 四半期連結累計期間の経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ 0 百万円増加しております。

（4）追加情報

（貸倒引当金の計上基準）

平成23年度中間連結会計期間末から、破綻懸念先及び貸出条件緩和債権等を有する債務者で与信額が一定額以上の大口債務者のうち、債権の元本の回収及び利息の受取りに係るキャッシュ・フローを合理的に見積もることができる債権については、当該キャッシュ・フローを貸出条件緩和実施前の約定利率で割いた金額と債権の帳簿価額との差額を貸倒引当金とする方法（キャッシュ・フロー見積法）を適用しております。これは、平成23年度第 2 四半期連結会計期間において、当行におけるキャッシュ・フロー見積法を適用するための体制が整備されたことによるものであります。

これにより、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、従来の方法によった場合に比べ477百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
現金預け金	29,742	53,141
コールローン及び買入手形	20,000	20,000
商品有価証券	64	142
金銭の信託	3,000	3,003
有価証券	378,889	381,434
貸出金	877,943	867,970
外国為替	3,915	4,034
その他資産	4,806	3,851
有形固定資産	14,400	14,404
無形固定資産	601	571
繰延税金資産	4,370	4,285
支払承諾見返	2,155	3,128
貸倒引当金	△9,262	△9,220
資産の部合計	1,330,626	1,346,747
負債の部		
預金	1,231,007	1,246,553
コールマネー及び売渡手形	903	872
借入金	9,700	10,000
社債	8,000	8,000
その他負債	6,242	6,145
賞与引当金	716	411
役員賞与引当金	31	8
退職給付引当金	4,950	4,799
役員退職慰労引当金	195	133
睡眠預金払戻損失引当金	211	211
偶発損失引当金	315	322
利息返還損失引当金	26	26
再評価に係る繰延税金負債	2,093	2,092
支払承諾	2,155	3,128
負債の部合計	1,266,550	1,282,706
純資産の部		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	8,208	8,208
利益剰余金	39,903	40,063
自己株式	△125	△125
株主資本合計	57,986	58,146
その他有価証券評価差額金	3,376	3,175
土地再評価差額金	2,438	2,435
その他の包括利益累計額合計	5,814	5,610
少数株主持分	274	283
純資産の部合計	64,076	64,040
負債及び純資産の部合計	1,330,626	1,346,747

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
経常収益	5,776	5,407
資金運用収益	5,085	4,799
(うち貸出金利息)	4,130	3,884
(うち有価証券利息配当金)	925	890
役務取引等収益	510	507
その他業務収益	115	26
その他経常収益	64	74
経常費用	5,681	4,727
資金調達費用	288	244
(うち預金利息)	227	175
役務取引等費用	379	373
その他業務費用	0	0
営業経費	3,537	3,581
その他経常費用	1,475	528
経常利益	95	679
特別利益	0	—
固定資産処分益	0	—
特別損失	1	5
固定資産処分損	1	1
減損損失	—	4
税金等調整前四半期純利益	94	673
法人税、住民税及び事業税	187	69
法人税等調整額	△186	187
法人税等合計	0	257
少数株主損益調整前四半期純利益	93	415
少数株主利益	3	9
四半期純利益	89	406

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	93	415
その他の包括利益	866	△200
その他有価証券評価差額金	866	△200
四半期包括利益	959	214
親会社株主に係る四半期包括利益	955	205
少数株主に係る四半期包括利益	3	9

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 補足情報

平成25年３月期 第１四半期決算説明資料

(1) 損益状況（単体）

- 業務粗利益は、役務取引等利益が増加したものの、預貸差利益の減少などにより資金利益が減少したことに加え、その他業務利益が減少したことなどにより、前年同四半期比３億23百万円減少し46億67百万円となりました。
- 業務純益は、経費が増加したことや一般貸倒引当金の戻入超過額が減少したことなどにより、前年同四半期比４億43百万円減少し12億29百万円となりました。
- 経常利益は、不良債権処理額の減少などにより、前年同四半期比５億64百万円増加の６億51百万円となりました。
- 四半期純利益は、法人税等調整額を含めた税金費用が増加しましたが、経常利益の増加などにより前年同四半期比３億12百万円増加の３億96百万円となりました。

(単位：百万円)

	平成25年３月期 第１四半期 (A)	平成24年３月期 第１四半期 (B)	増減 (A) - (B)	(参考) 平成25年３月期 第２四半期 累計期間予想
業 務 粗 利 益 (コ ア 業 務 粗 利 益)	4,667 (4,667)	4,990 (4,899)	△323 (△232)	
資 金 利 益	4,542	4,781	△239	
役 務 取 引 等 利 益	117	110	7	
そ の 他 業 務 利 益 (うち国債等債券関係損益)	8 (-)	97 (90)	△89 (△90)	
経 費 (除 く 臨 時 処 理 分)	3,499	3,392	107	
人 件 費	2,003	1,926	77	
物 件 費	1,360	1,325	35	
税 金	135	140	△5	
業 務 純 益 (一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入 前)	1,167	1,597	△430	
(コ ア 業 務 純 益)	(1,167)	(1,507)	(△340)	
一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入 額 ①	△62	△74	12	
業 務 純 益	1,229	1,672	△443	
臨 時 損 益	△578	△1,584	1,006	
う ち 不 良 債 権 処 理 額 ②	261	1,180	△919	
う ち 償 却 債 権 取 立 益 ③	59	42	17	
う ち 株 式 等 関 係 損 益	△239	△314	75	
経 常 利 益	651	87	564	1,120
特 別 損 益	△5	△0	△5	
税 引 前 四 半 期 純 利 益	645	86	559	
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	59	187	△128	
法 人 税 等 調 整 額	189	△185	374	
法 人 税 等 合 計	249	2	247	
四 半 期 純 利 益	396	84	312	600

(参考)

実質与信関係費用(①+②-③)	139	1,063	△924
-----------------	-----	-------	------

- (注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
 2. 増減欄の計数は、表上の数値による計算結果を表示しております。
 3. 平成25年３月期第２四半期累計期間予想は、平成24年５月11日に公表した数値であり変更はありません。
 4. コア業務粗利益＝業務粗利益－国債等債券関係損益
 5. コア業務純益＝業務純益－国債等債券関係損益＋一般貸倒引当金繰入額

（２）金融再生法ベースの категорияによる開示

●金融再生法ベースの不良債権額は、単体・連結ともに前年同四半期末比17億円増加し、単体が413億円、連結が415億円となりました。

●不良債権比率は、単体が前年同四半期末比0.16ポイント、連結が0.15ポイント上昇し、それぞれ4.72%、4.73%となりました。

【単体】

(参考) (単位：億円)

	平成24年6月末	平成23年6月末	平成24年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	75	92	79
危険債権	327	276	322
要管理債権	10	27	10
小計 (A)	413	396	412
正常債権	8,352	8,299	8,443
合計 (B)	8,766	8,696	8,856
不良債権比率 (A) / (B)	4.72%	4.56%	4.66%

【連結】

(参考) (単位：億円)

	平成24年6月末	平成23年6月末	平成24年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	76	95	81
危険債権	327	276	322
要管理債権	10	27	10
小計 (A)	415	398	414
正常債権	8,359	8,305	8,450
合計 (B)	8,774	8,704	8,864
不良債権比率 (A) / (B)	4.73%	4.58%	4.67%

（３）自己資本比率（国内基準）

●平成24年６月末の自己資本比率（国内基準）〔速報値〕は、単体が平成24年３月末比0.16ポイント上昇し12.50%、連結が同0.15ポイント上昇し12.52%となりました。

【単体】

（参考）（単位：億円）

	平成24年６月末 〔速報値〕	平成24年３月末比	平成24年３月末
	(1) 自己資本比率	12.50%	0.16%
うち基本的項目比率（Tier I 比率）	9.62%	0.14%	9.48%
(2) 基本的項目の額（Tier I）	579	4	575
(3) 補完的項目の額（Tier II）	172	△1	173
(4) 控除項目	—	—	—
(5) 自己資本の額（2）＋（3）－（4）	752	4	748
(6) リスク・アセット等	6,016	△48	6,064
(7) 総所要自己資本額（6）×４％	240	△2	242

【連結】

（参考）（単位：億円）

	平成24年６月末 〔速報値〕	平成24年３月末比	平成24年３月末
	(1) 自己資本比率	12.52%	0.15%
うち基本的項目比率（Tier I 比率）	9.63%	0.14%	9.49%
(2) 基本的項目の額（Tier I）	581	4	577
(3) 補完的項目の額（Tier II）	174	△0	174
(4) 控除項目	—	—	—
(5) 自己資本の額（2）＋（3）－（4）	755	3	752
(6) リスク・アセット等	6,033	△47	6,080
(7) 総所要自己資本額（6）×４％	241	△2	243

（注）１．リスク・アセット等は、信用リスク・アセットの額及びオペレーショナル・リスク相当額に係る額の合計であります。

２．リスク・アセット等の算出において、信用リスクについては「標準的手法」、オペレーショナル・リスクについては「基礎的手法」をそれぞれ採用しております。

(4) 時価のある有価証券の評価差額

●時価のあるその他有価証券の評価差額は、単体・連結ともに前年同四半期末比4億円増加し、47億円となりました。

【単体】

(参考) (単位：億円)

	平成24年6月末				平成23年6月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損	
その他有価証券	3,635	47	77	29	3,444	43	68	24
株 式	35	6	8	1	38	9	10	1
債 券	3,280	61	62	0	2,956	47	48	1
そ の 他	319	△20	6	26	448	△13	8	22

平成24年3月末			
時価	評価差額		
	うち益	うち損	
3,609	50	71	21
41	10	12	2
3,198	51	52	1
369	△11	6	17

- (注) 1. 「評価差額」及び「含み損益」は帳簿価格(償却原価法適用後、減損処理後)と時価との差額を計上しております。
2. 満期保有目的の債券に係る含み損益は以下のとおりであります。子会社・関連会社株式は該当がないため記載しておりません。

(参考) (単位：億円)

	平成24年6月末				平成23年6月末			
	帳簿価格	含み損益			帳簿価格	含み損益		
		うち益	うち損			うち益	うち損	
満期保有目的の債券	169	△13	0	13	185	△12	0	12

平成24年3月末			
帳簿価格	含み損益		
	うち益	うち損	
169	△10	0	10

【連結】

(参考) (単位：億円)

	平成24年6月末				平成23年6月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損	
その他有価証券	3,635	47	77	29	3,444	43	68	24
株 式	35	6	8	1	38	9	10	1
債 券	3,280	61	62	0	2,956	47	48	1
そ の 他	319	△20	6	26	448	△13	8	22

平成24年3月末			
時価	評価差額		
	うち益	うち損	
3,609	50	71	21
41	10	12	2
3,198	51	52	1
369	△11	6	17

- (注) 1. 「評価差額」及び「含み損益」は帳簿価格(償却原価法適用後、減損処理後)と時価との差額を計上しております。
2. 満期保有目的の債券に係る含み損益は以下のとおりであります。子会社・関連会社株式は該当がないため記載しておりません。

(参考) (単位：億円)

	平成24年6月末				平成23年6月末			
	帳簿価格	含み損益			帳簿価格	含み損益		
		うち益	うち損			うち益	うち損	
満期保有目的の債券	169	△13	0	13	185	△12	0	12

平成24年3月末			
帳簿価格	含み損益		
	うち益	うち損	
169	△10	0	10

（５）預金、貸出金の残高（単体）

- 預金の残高は、前年同四半期末比268億円増加し、１兆2,465億円となりました。
- 貸出金の残高は、前年同四半期末比72億円増加し、8,680億円となりました。

（参考）（単位：億円）

	平成24年６月末	平成23年６月末	平成24年３月末
預 金（末 残）	12,465	12,197	12,310
うち 県 内 預 金	11,207	10,959	11,039
うち 個 人 預 金	9,243	9,140	9,199
貸 出 金（末 残）	8,680	8,608	8,780
うち 県 内 貸 出 金	6,847	6,839	6,937
うち 個 人 ロ ー ン	2,565	2,526	2,565

（６）預り資産（末残）の状況（単体）

- 預り資産の残高は、前年同四半期末比８億円増加し、1,201億円となりました。投資信託は減少しましたが、保険が53億円増加したほか、公共債も24億円増加しました。

（参考）（単位：億円）

	平成24年６月末	平成23年６月末	平成24年３月末
預 り 資 産	1,201	1,193	1,203
投 資 信 託	317	386	346
公 共 債	571	547	565
保 険	287	234	267
外 貨 預 金	24	24	25

以 上